

#### 4. アンケート調査票

##### I. 貴社の概要について

貴社の概要について、太枠内に必要事項をご記入ください。また、※印の項目については、選択肢の中から貴社に該当するものを1つお選びください。

貴社組織形態	1. 個人企業(個人事業主) 2. 株式・有限会社 3. その他( )		
業種 ※1		貴社設立年	年
売上高	百万円	研究開発費	百万円
従業者数	人	研究関係従業者数	人
資本金	百万円	資本関係 ※2	
売上高傾向 ※3		経常利益 ※3	
経常利益率 ※3			

※1：業種に関する選択肢（1つ選択）

■ 製造業			
1. 食品製造業	2. 繊維・パルプ・紙製造業	3. 医薬品製造業	4. 化学工業
5. 石油石炭・プラスチック・ゴム・窯業	6. 鉄鋼・非鉄金属製造業	7. 金属製品製造業	
8. 機械製造業	9. 電気機械製造業	10. 輸送用機械製造業	11. 業務用機械器具製造業
12. その他製造業			
■ 非製造業			
13. 建設業	14. 情報通信業	15. 卸売・小売等	16. その他の非製造業
17. 教育・TLO・公的研究機関・公務	18. その他		

※2：資本関係に関する選択肢（1つ選択）

1. 単独の大企業が発行済株式総数または出資総額の2分の1以上を所有または出資している
2. 複数の大企業が合計で、発行済株式総数または出資総額の3分の2以上を所有または出資している
3. 役員総数の2分の1以上を大企業の役員または職員が兼務している
4. 上記1～3には該当しない

※3：貴社の過去3年間の売上高傾向、経常利益、経常利益率に関する選択肢（それぞれ1つ選択）

売上高	1. 大幅な増加傾向	2. 若干の増収傾向	3. 横ばい	4. 若干の減収傾向	5. 大幅な減収傾向
経常利益	1. 大幅な黒字	2. 若干の黒字	3. 収支トントン	4. 若干の赤字	5. 大幅な赤字
経常利益率	1. 大幅に改善	2. 若干の改善	3. 変わらない	4. 若干の悪化	5. 大幅な悪化

## Ⅱ. 貴社の事業について

問1. 貴社の商品・サービスなどの主要な仕入先として、(1) 現在、(2) 今後(3年程度を目安としてください)について、それぞれ最も該当する選択肢の番号を1つに○をつけてください。

	国内					海外
	同一市町村	隣接市町村	同一都道府県	隣接都道府県	全国	
(1)現在	1	2	3	4	5	6
(2)今後	1	2	3	4	5	6

問2. 貴社の商品・サービスなどの主要な販売先として、(1) 現在、(2) 今後(3年程度を目安としてください)について、それぞれ最も該当する選択肢の番号を1つに○をつけてください。

	国内					海外
	同一市町村	隣接市町村	同一都道府県	隣接都道府県	全国	
(1)現在	1	2	3	4	5	6
(2)今後	1	2	3	4	5	6

問3. 貴社の事業内容についてお答えください。

(1) 前頁Ⅰ. で製造業のいずれかを選ばれた方にお伺いします。 ※非製造業を選ばれた方は(2)へ

①貴社の生産活動として最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※取り扱う製品や部材が複数ある場合は、最も売上高の大きいものをお選びください。

- |                    |                                   |
|--------------------|-----------------------------------|
| 1. 完成品・最終製品をつくっている | 2. 部品・半製品(各種加工・処理工程の請負を含む)をつくっている |
| 3. 素材・原材料をつくっている   | 4. 企画・研究開発中心で、生産は外部委託している         |

②貴社は下請受注がありますか。1つに○をつけてください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

③貴社は自社で企画・開発した自社製品(完成品や部品、素材)をつくっていますか。1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. つくっている | 2. つくっていない |
|-----------|------------|

→問4へお進みください。

(2) 前頁Ⅰ. で非製造業のいずれかを選ばれた方にお伺いします。貴社は自社で企画・開発した自社サービスや自社商品を提供していますか。1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 提供している | 2. 提供していない |
|-----------|------------|

問4. 貴社の事業活動において、強み（差別化要素）はどこにありますか。選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。

1. 技術力	2. 商品力（品質・デザイン）
3. 企画提案力	4. 価格競争力（低価格）
5. 販売力・営業力	6. 短納期への対応や顧客対応の速さ
7. 小口受注や多品種小ロットへの対応	8. アフターサービス
9. ブランド力	10. 儲けるしくみ（ビジネスモデル）
11. グループとしての総合力	12. 経営者や事業部門長のリーダーシップ
13. その他（具体的に	）

問5. 貴社が知的財産権を用いている製品・サービスの平均的なライフサイクル（期間）を各知的財産権別にお答えください。

特許・実用新案  年      意匠  年      商標  年

問6. 過去10年以内に「新事業の展開」、または貴社の収益に大きく貢献するような「新技術やヒット商品・サービス」が生まれていますか。1つに○をつけてください。

1. 「新事業」を展開しており、「新技術やヒット商品・サービス」も生まれている	→ (1)以降へ
2. 「新事業」を展開しているが、「新技術やヒット商品・サービス」は生まれていない	→ 問7へ
3. 「新事業」は展開していないが、「新技術やヒット商品・サービス」は生まれている	→ (2)以降へ
4. 「新事業」を展開しておらず、「新技術やヒット商品・サービス」も生まれていない	→ 問7へ

(1) その「新事業」では、新商品の提供や新分野への進出を行っていますか。1つに○をつけてください。

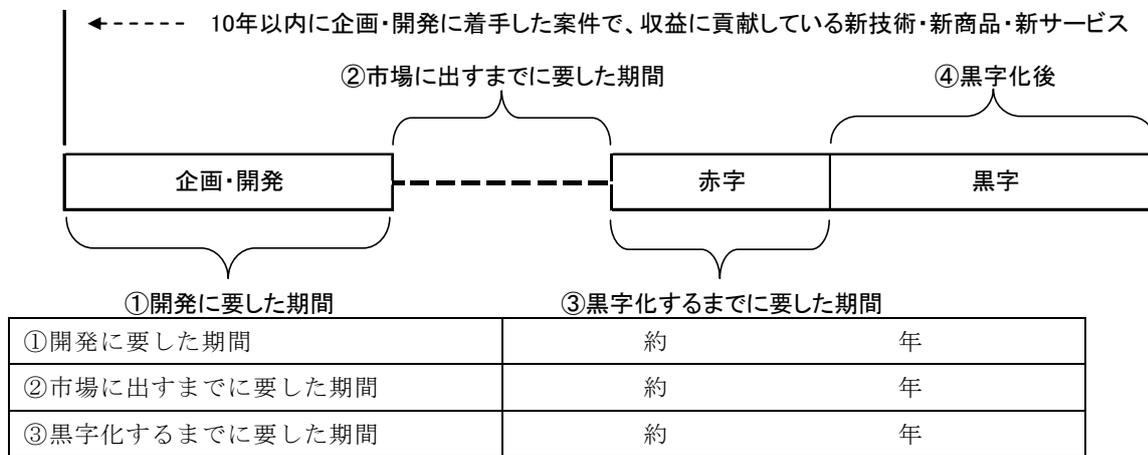
1. 新商品を提供した	2. 新分野へ進出した
3. 新商品の提供、新分野への進出の両方とも行った	

(2) その「新技術やヒット商品・サービス」は、既存の技術や商品・サービスの改良・改善によるもの、全くの新規の開発によるもの、どちらが多いですか。1つに○をつけてください。

1. 改良・改善によるものである	2. 全くの新規である	3. どちらともいえない
------------------	-------------	--------------

(3) その「新技術やヒット商品・サービス」の①開発に要した期間、②市場に出すまでに要した期間、③黒字化するまでに要した期間は、それぞれどれくらいですか。それぞれについて、四捨五入したおおよその年数をご記入ください。

(ご注意) 過去10年間に複数該当するものがある場合は、貴社の収益に最も貢献したものについてお答えください。



(4) その「新技術やヒット商品・サービス」で、特許権や商標権等の知的財産権を取得していますか。以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。また、「1. 特許権」～「4. 意匠権」に○をつけた場合は、(3)で示した図を参考に、その取得に向けた知的財産活動(知財戦略や出願の検討等)を開始した時期を 1つ選び○をつけてください。(なお、複数の特許権等を取得している場合は、一番最初の権利に関する知的財産活動を開始した時期を選んで○をつけてください。)

取得しているものすべてに ○ ↓	「1.」～「4.」のいずれかに○をつけた場合は、その知的財産権取得に向けた知的財産活動を開始した時期を、下記の①～④の中から1つ選んで○をつけてください。			
	①開発に要した期間中	②市場に出すまでに要した期間中	③黒字化するまでに要した期間中	④黒字化後
1. 特許権	1	2	3	4
2. 実用新案権	1	2	3	4
3. 商標権	1	2	3	4
4. 意匠権	1	2	3	4
5. その他( )				
6. 取得していない				

(5) その「新技術やヒット商品・サービス」で、知的財産権を取得したことは、新技術やヒット商品・サービスの事業を進めるうえでどのような効果がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、「1.」～「10.」のいずれかに○をつけた場合は、業績への影響についてもお答えください。

- |  |
|--|
| 1. 価格付けに有利にはたらいた（例：強気の価格設定が可能となった、等）             |
| 2. 市場を独占することができた（例：特許取得により他社の参入を防ぎ事業を独占できた、等）    |
| 3. 模倣品や類似品の排除が可能となった（例：商標登録による類似品排除、他社製品との差別化、等） |
| 4. 信用力を得ることができた（例：特許を取得していることで販売先等に技術力を立証できた、等）  |
| 5. 新規顧客の開拓につながった（例：特許を取得していることが評価された、等）          |
| 6. 対外的なアピール効果が得られた（例：特許を取得していることを宣伝し知名度が上がった、等）  |
| 7. 新技術やヒット商品・サービスのブランドを高めることにつながった               |
| 8. 資金調達が容易になった                                   |
| 9. 他社との提携など事業の幅が広がった                             |
| 10. その他（具体的に _____ ）                             |
| 11. 特に効果はない                                      |

結果として、業績向上につながりましたか。 1つに○をつけてください。

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. 大いにつながった    | 2. ややつながった    | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりつながらなかった | 5. 全くつながらなかった |              |

問7. 貴社の輸出および海外展開について

(1) 各エリア別に、日本からの①輸出の有無、②現地生産の有無について、該当するものに○をつけてください。

国・地域	①輸出	②現地生産
1. アメリカ	有 ・ 無	有 ・ 無
2. ヨーロッパ	有 ・ 無	有 ・ 無
3. 中国	有 ・ 無	有 ・ 無
4. 中国を除くアジア	有 ・ 無	有 ・ 無
5. オセアニア	有 ・ 無	有 ・ 無
6. 中南米	有 ・ 無	有 ・ 無
7. その他（ _____ ）	有 ・ 無	有 ・ 無

(2) 貴社は海外の進出している地域で、特許などの出願や他の知的財産に関する対応を行っていますか。該当するもの全てに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 進出している海外地域で、基本特許の出願及び権利化を行っている        |
| 2. 進出している海外地域で、特許侵害のモニタリングや差し止め訴訟等を行っている |
| 3. 生産を行っている海外地域では、ノウハウに関わる製造工程を行わない      |
| 4. 特に、進出している海外地域での知的財産に関する対応は行っていない      |
| 5. その他（ _____ ）                          |

### Ⅲ. 知的財産活動状況について

問 1. 直近の会計年度末における国内外の知的財産権の保有件数について、お答えください。

項目	特許権		実用新案権		意匠権		商標権	
	国内	外国	国内	外国	国内	外国	国内	外国
権利所有件数	件	件	件	件	件	件	件	件

問 2. 先行技術調査・審査請求について

「先行技術調査」、「先行登録調査」とは、すでに他人が同じもしくは類似する技術や商標等を出願したり登録したりしていないかどうかを確認することをいいます。他人が先に出願や登録していると、自分が後から出願しても登録にならないのと同時に、他人の権利を侵害するおそれがあり、こうした不都合を除去するために行う調査をいいます。

(1) 特許の先行技術調査をいつ、どのように行っていますか。それぞれ選択肢の中から該当するもの1つに○をつけてください。

(いつ)

1. 出願前 い	2. 出願後～審査請求前	3. 特許の出願をしたことがない
4. (特許の出願をしたことがあるが) 行っていない		

(どのように)

1. 自社で実施	2. 弁理士事務所に依頼して実施	3. 専門機関に依頼して実施
4. 特許の出願をしたことがない 5. (特許の出願をしたことがあるが) 行っていない		

(2) (1)において、「1. 出願前」に○をつけた方にお伺いします。出願前に先行技術調査を行った結果、類似する先行技術が確認された場合にどのような対応をとっていますか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. 発明が解決しようとする課題に対し、先行技術とは異なる解決手段・実施例等に修正して出願を行った
2. 出願を断念し、当該先行技術を有する企業等よりライセンス供与を受けた
3. 出願を断念するとともに、当該発明にかかる製品化・事業化等も断念した
4. その他 ( )

(3) 出願前の意匠や商標の先行登録調査をどのように行っていますか。

1. 自社で実施	2. 弁理士事務所に依頼して実施
3. 専門機関に依頼して実施	4. 意匠や商標の出願をしたことがない
5. (意匠や商標の出願をしたことがあるが) 行っていない	

(4) (1) 又は (3) で「行っていない」を回答された方のみお伺いします。特許等の先行技術調査、意匠や商標の先行登録調査を行っていない理由をお答えください（それぞれ該当するものすべてに○）。

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1. 費用がかかるから    | 2. 調査に時間がかかるから            |
| 3. やり方がわからないから | 4. 先行技術調査や先行登録調査自体を知らなかった |
| 5. その他（        | ）                         |

(5) 貴社が特許等を出願した際、出願前に貴社が意図していた技術等の内容と権利化された特許等の範囲は同じ内容でしたか。以下の選択肢の中から、該当するものすべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 当初意図した内容と権利化された内容はほぼ同じであった             |   |
| 2. 当初意図した内容に比べて、権利化された内容は異なっていた（範囲が狭くなった） |   |
| 3. 当初意図した内容と権利化された内容が同じ内容であったか評価できない      |   |
| 4. 当初意図した内容は全て拒絶されたので、権利にならなかった           |   |
| 5. その他（                                   | ） |

(6) 貴社は特許出願したものの、審査請求を行わなかった経験がありますか。選択肢の中から最も該当するもの1つに○をつけてください。

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1. 先行技術調査の結果、権利化が難しいと判断した |   |
| 2. 費用対効果を考慮して、審査請求を見送った   |   |
| 3. 事業戦略に変更が生じたため          |   |
| 4. 他社を牽制することが目的であったため     |   |
| 5. その他（                   | ） |

問3. 知的財産権を所有する目的・効果について

(1) 貴社にとって、知的財産権を所有する主な目的はどのような内容でしょうか。また、その目的を達成できていると思われますか。①目的、②効果（目的が達成できた）について、以下の選択肢によりそれぞれ該当するものをご記入ください（複数回答可）。

①目的

②効果

※効果で「11 特に効果はない」を記載した方は（2）へ

選択肢
1 価格付けに有利にはたらかせる（例：強気の価格設定が可能となった、等）
2 市場を独占する（例：特許取得により他社の参入を防ぎ事業を独占できた等）
3 模倣品や類似品の排除が可能となった（例：商標登録による類似品排除、他社製品との差別化、等）
4 信用力を得る（例：特許を取得していることで技術力を立証できた、等）
5 新規顧客の開拓につなげる（例：特許を取得していることが評価された、等）
6 対外的なアピール効果を得る（例：特許を取得していることを宣伝し知名度が上がった等）
7 新技術や商品・サービスのブランドを高める
8 資金調達を容易にする →（3）へ
9 他社との提携など事業の幅を広げる
10 その他（具体的に _____）
11 特に効果はない

(2) (1)の「効果」欄において、「11 特に効果はない」を選択された方にお伺いします。特に効果がないと感じられた理由をご記入ください。

(3) (1)で選択肢「8 資金調達を容易にする」を②効果として回答された方にお伺いします。どのような形の資金調達でしたか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 金融機関から定性面での評価が上がり、通常の融資を受けられた	4. ベンチャーキャピタルなどによる投資を受けられた
2. 金融機関から定性面での評価が上がり、通常の融資より優遇された（融資枠の拡大、利率等）	5. 大企業や商社からの資金供給
3. 知的財産担保融資を受けられた	6. その他（ _____ ）

(4) (3) でご回答いただいた資金調達において、評価の対象となったものすべてに○を付けてください（複数回答可）。なお「知的資産経営」とは、特許などの知的財産のほか人材、組織力、顧客などとのネットワークなど、目に見えない資産で企業の競争力の源泉となるものを、有効に組み合わせて活用することで収益につなげる経営を意味します。

1. 特許権	2. 実用新案権	3. 意匠権
4. 商標権	5. 知的資産経営全般	6. その他 ( )

(5) 貴社は、知的財産権や知的資産経営の評価に基づく融資を受けたことがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 特許等の知的財産権の評価に基づく融資（あるいは投資）を受けたことがある
2. 知的資産経営の評価に基づく融資（あるいは投資）を受けたことがある
3. 特許等の知的財産権を担保にした融資を受けたことがある
4. 知的財産権や知的資産経営の評価に基づく融資で金利優遇や金利助成を受けたことがある
5. 知的財産権や知的資産経営の評価に基づく融資で融資額が増額されたことがある
6. その他 ( )

(6) (5) において行った資金調達において、評価の対象となったものすべてに○を付けてください。

1. 特許権	2. 実用新案権	3. 意匠権
4. 商標権	5. 知的資産経営全般	6. その他 ( )

問4. 営業秘密（ノウハウ）について

「営業秘密（ノウハウ）」とは、①秘密として管理されていること、②有用な情報であること、③公然と知られていないことの三要件を満たす技術上の情報を意味します。

(1) 貴社では、特許や営業秘密について、どのように対処していますか。貴社の取り組みに最も近いもの 1つに○をつけてください。

1. 特許出願は最小限にとどめ、できるだけ営業秘密として保護している → (2) へ	} (4) へ
2. 基本的に特許として権利化できそうなものは、積極的に特許出願を行っている	
3. 特許出願する場合と営業秘密として保護する場合の基準を定め、それに従っている	
4. 特許や営業秘密は業務上重要であるとの認識はあるが、特に方針は定めていない	
5. 特許や営業秘密は業務上あまり重要ではない	

(2) 特許出願は最小限にとどめ、できるだけ営業秘密として保護する理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 取引先との関係で特許出願しづらい → (3) へ</li><li>2. 特許出願は出願内容が公開され技術流出につながる恐れがあるため</li><li>3. 特許は 20 年で効力を失うため</li><li>4. 特許は事業に馴染まず、結果的に営業秘密として保護している</li><li>5. 特許は出願費用や審査請求費用がかかり、コスト負担が大きい</li><li>6. 特許出願を行うためのノウハウが不足している</li><li>7. その他 ( )</li></ol>	} (4) へ
---	---------

(3) 「取引先との関係で特許出願しづらい」理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 取引先から反発や反感を買う恐れがある</li><li>2. 取引先から共同出願を要求される恐れがある</li><li>3. 取引先から特許にかかるノウハウの提供を要求される恐れがある</li><li>4. 取引先から当該技術の他社へのライセンスを抑制される恐れがある</li><li>5. その他 (具体的に )</li></ol>
---

(4) 貴社は営業秘密（ノウハウ）の管理をどのように行っていますか。選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 何が営業秘密情報であるかを特定している</li><li>2. 営業秘密情報に関する書類は鍵付きのロッカーに入れるなど、特定のスタッフのみが閲覧できる状態に制限されている</li><li>3. デジタルデータの営業秘密情報は、特定のスタッフのみが閲覧できる状態に制限されている</li><li>4. 営業秘密情報には「秘」など、秘密情報であることがわかるように記載している</li><li>5. 取引先と営業秘密情報を取り交わすときには秘密保持契約または覚書を締結している</li><li>6. 特に管理は行っていない</li><li>7. 営業秘密を保有していない</li></ol>
---

(5) 貴社は、先使用权や不正競争防止法による保護を受けるために、営業秘密（ノウハウ）の保有を証明する手段として、どのようなものを利用していますか。選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。なお「先使用权」とは、他者が特許権を得た発明と同一の発明を、他者の特許出願時以前から、事業として実施または実施の準備をしていた場合には、その事業を継続（その特許権を一定の範囲内で無償で実施）することができる権利をいいます。

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 公証人役場で公正証書や確定日付を取得している</li><li>2. 電子公証制度を利用している</li><li>3. 民間のタイムスタンプや電子署名のサービスを利用している</li><li>4. 先使用权や不正競争防止法による保護制度は知っていたが、なにも行っていない → (6) へ</li><li>5. 先使用权や不正競争防止法による保護制度を知らなかった → 問 5 へ</li></ol>	} 問 5 へ
---	---------

(6) 営業秘密（ノウハウ）の保有を証明するために、なにも行っていない理由は何ですか。選択肢の

中から該当するものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 手続が面倒であるため                                |
| 2. コストがかかりすぎるため                              |
| 3. 民間のタイムスタンプや電子署名のサービスでは、証明力に不安があるため        |
| 4. どのような証明方法があるか知らなかったため                     |
| 5. 保護すべき営業秘密（ノウハウ）がないため                      |
| 6. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 5. 技術移転について ※ここでの技術移転とは、特許の権利譲渡やライセンス許諾を受けることを意味しています

(1) 貴社は技術移転を受けることに関心（経験）はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 1. 関心があり、技術移転を受けた経験がある           | } (2) へ |
| 2. 関心はあるが、技術移転を受けた経験はない          |         |
| 3. 技術移転を受けた経験はなく、関心もあまりない →問 6 へ |         |

(2) どこからの技術移転に関心をお持ちですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                  |                   |
|---|------------------|-------------------|
| 1. 大学   | 2. 国や公設の試験研究機関   | 3. 中堅企業・大企業       |
| 4. 中小企業                                       | 5. 研究開発型のベンチャー企業 | 6. 海外の大学や試験研究機関   |
| 7. 海外の中堅企業・大企業                                | 8. 海外の中小企業       | 9. 海外の研究開発型のベンチャー |
| 10. その他（ <span style="float: right;">）</span> |                  |                   |

(3) どのような目的で技術移転に関心がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. 新技術・新商品・新サービスの開発   | 2. 既存の技術・商品・サービスの改良・改善                       |
| 3. 異業種や新分野など、新規事業への参入 | 4. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

(4) 技術移転を受けるにあたっての課題は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 特許・技術取引にかかる情報が不足している                      | 2. 有望な技術の発掘方法がわからない |
| 3. 自社ビジネスに適用するための人材やノウハウが不足している              |                     |
| 4. 契約等にかかる知識や経験が不足している                       | 5. ライセンス料が高い        |
| 6. 活用したいと思える特許が少ない                           | 7. 設備投資のための事業資金が無い  |
| 8. その他（ <span style="float: right;">）</span> | 9. 特に課題はない          |

問6. ライセンスの供与について

(1) 貴社はライセンスを供与することに関心(経験)はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |       |
|---|-------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 関心があり、ライセンスを供与した経験がある → (2)へ</li><li>2. 関心はあるが、ライセンスを供与した経験はない</li><li>3. ライセンスを供与した経験はなく、関心もあまりない</li></ol> | } 問7へ |
|---|-------|

(2) 貴社の知的財産(ノウハウ含む)は、現在、ライセンスに使用されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 国内の中堅企業・大企業にライセンスを供与している</li><li>2. 国内の中小企業にライセンスを供与している</li><li>3. 海外の中堅企業・大企業にライセンスを供与している</li><li>4. 海外の中小企業にライセンスを供与している</li><li>5. その他 ( )</li><li>6. 現在はライセンスを供与していない</li></ol> |
|--|

(3) 貴社は、どのような場合に、他社へライセンスを供与していますか。あるいは、ライセンスを供与したいと思いませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 自社技術を他社の製品に導入する場合</li><li>2. 自社のブランド(商標)やキャラクターを他社が製品に使用する場合</li><li>3. 他社からの依頼で自社の未利用特許や商標の使用を許可する場合</li><li>4. 他社が自社の特許や商標を侵害していることが明らかな場合</li><li>5. その他 ( )</li></ol> |
|--|

(4) ライセンスを行うことにより得られるロイヤルティ収入について適切に回収できていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. ロイヤルティ収入については、ライセンス供与先からの自己申告により回収している</li><li>2. 第三者を活用し、ライセンス供与先が該当する製品やサービスをどの程度製造(あるいは出荷・販売)しているかを把握し、回収している</li><li>3. ロイヤルティ収入について回収できていない</li><li>4. その他 ( )</li></ol> |
|--|

問7. 模倣被害について

(1) 2012年度中に、貴社商品・サービスに対し模倣被害がありましたか。選択肢の中から該当するもの1つに○をつけてください。

- |  |       |
|--|-------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 模倣被害があった → (2)へ</li><li>2. 模倣被害がなかった</li><li>3. 不明(わからない、把握していない)</li></ol> | } 問8へ |
|--|-------|

(2) (1)において模倣被害にあった知的財産権すべてに○をつけてください。また、国内・海外についても該当するものに○をつけてください。

- |                |                  |                |
|----------------|------------------|----------------|
| 1. 特許権 <国内・海外> | 2. 実用新案権 <国内・海外> | 3. 商標権 <国内・海外> |
| 4. 意匠権 <国内・海外> | 5. その他 ( )       | <国内・海外>        |

(3) 貴社が被害を受けた模倣被害の内容について、当てはまるものはどれですか。該当するものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. デッドコピー（商品のデザイン・パッケージなどの形態をそのまま模倣したもの）                                   |
| 2. デザイン模倣（商品のデザイン等の一部を模倣したもの）  |
| 3. ブランド偽装（ブランドロゴ等の商標を全く同じ形で盗用したもの、一文字違い等、紛らわしい商標を使用したもの）                   |
| 4. 真正品の代替（パーツ等）（半製品や付属品等模倣品を格安で販売し、購入者は偽装品であることを知りながら購入しているもの）             |
| 5. 技術模倣（貴社の製品技術や製品機能を貴社の許諾なしに模倣し、自社商品に取り込んでいるもの）                           |
| 6. 海賊版（違法にコピーされたCD・DVD・書籍等のパッケージ形態又は違法アップロード等ノンパッケージ形態による著作権・著作隣接権を侵害するもの） |
| 7. 冒認出願（権利を利さない第三者が商標・特許等を出願するもの）  |
| 8. ドメイン名の盗用（会社名・サービス名等と類似するドメインを取得して、商品・サービスを提供するもの）                       |
| 9. その他（具体的に： )   |

(4) 貴社は、模倣被害に対して、どのような対応をとりましたか。選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。

- |   |       |
|---|-------|
| 1. 相手先に警告状を発送して、模倣品の回収や損害金の請求を行った             | } 問8へ |
| 2. 裁判所に権利侵害等の訴訟を請求して、製品販売の差し止めや損害賠償金の請求を行った   |       |
| 3. 海外からの輸入品であったので、税関で輸入の差し止めを行った（国内の場合）       |       |
| 4. 行政機関による取締りにより、侵害行為の差し止め・模倣品の廃棄等を行った（海外の場合） |       |
| 5. その他 ( )                                    |       |
| 6. 何も対応を取らなかった → (5)へ                         |       |

(5) (4)において、「6. 何も対応を取らなかった」に○をつけた方にお伺いします。何も対応を取らなかった理由として、該当するものすべてに○をつけてください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 相手が得意先などの利害関係者であったため         |
| 2. 自社が事業を展開している地域における被害ではなかったため |
| 3. 対応を取ることが出来る者がいなかった           |
| 4. コストがかかるため                    |
| 5. 対応方法について相談する先がなかった           |
| 6. その他 ( )                      |

問 8. 貴社が他社の知的財産権を侵害していたケースについて

(1) 貴社が他社の知的財産権に対し、抵触（侵害）したことはありますか。選択肢の中から該当するもの1つに○をつけてください。

1. 国内で他社の知的財産権に対し、抵触（侵害）したことがある	} (2) へ
2. 海外で他社の知的財産権に対し、抵触（侵害）したことがある	
3. 国内・海外の両方で他社の知的財産権に対し、抵触（侵害）したことがある	
4. 事業化・製品化等の前に先行技術調査や先行登録調査を実施しているため、他社の知的財産権に抵触（侵害）したことはない →問 9 へ	
5. 事業化・製品化等の前に先行技術調査や先行登録調査を実施していないが、他社の知的財産権に抵触（侵害）したことはない →問 9 へ	

(2) (1) において抵触（侵害）のあった知的財産権すべてに○を付けてください（(1) で3に○をつけた場合は、国内・海外について、該当するものに○をつけてください）。

1. 特許権 <国内・海外>	2. 実用新案権 <国内・海外>	3. 商標権 <国内・海外>
4. 意匠権 <国内・海外>	5. その他 ( )	<国内・海外>

(3) 他社は、貴社の権利侵害被害に対して、どのような対応をとってきましたか。選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。

1. 貴社に対し警告状を発送され、製品の回収や解決金（損害金、実施料）の請求が行われた
2. 裁判所に権利侵害等の訴訟が提起され、販売の差し止めや損害賠償金の請求が行われた
3. その他 ( )

問 9. 貴社の知的財産活動全般について、

「知的財産活動」とは、本アンケート調査票では「知的財産制度を利用して知的財産を取り扱う企業活動」をいいます。具体的には、特許等の出願から権利化までの手続、知的財産権のライセンスや侵害対応、営業秘密（ノウハウ）の情報管理などの活動をイメージしてください。

(1) 企業経営と知的財産活動の関係性についてお伺いします。選択肢の中から貴社の取り組みに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 企業経営において知的財産活動を必要不可欠な活動として位置づけ実践している	} (2) へ
2. 企業経営において知的財産活動を意識して実践している	
3. 企業経営において知的財産活動を意識はしているが、実践が弱い	
4. 企業経営において、特に知的財産活動を意識していない	} (3) へ
5. わからない	

(2) (1) において、1~3に○をつけた方にお伺いします。貴社が具体的に実践していることについて、選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 事業計画の中に、特許等の知的財産の出願・登録や、知的財産を活用した事業の実施計画、あるいは他社へのライセンス計画などが含まれている |
| 2. 特許等の出願件数目標を定めている  |
| 3. 継続的に知的財産活動を行うための費用を予算化している  |
| 4. 知的財産に関する担当者を置いている   |
| 5. その他 ( )   |
| 6. 知的財産活動の成果を実感している  |

(3) 貴社の事業活動を以下の項目に分類した場合、すべての項目別に貴社が認識されている重要度について「非常に重要」「重要」「普通」の中から1つに○をつけてください。

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 市場調査活動                 | ( 非常に重要 ・ 重要 ・ 普通 ) |
| 2. 販売活動                   | ( 非常に重要 ・ 重要 ・ 普通 ) |
| 3. 製造活動                   | ( 非常に重要 ・ 重要 ・ 普通 ) |
| 4. 新製品・商品・サービスなどの(研究)開発活動 | ( 非常に重要 ・ 重要 ・ 普通 ) |
| 5. 知的財産活動                 | ( 非常に重要 ・ 重要 ・ 普通 ) |
| 6. その他活動(経理・品質管理・業務改善活動等) | ( 非常に重要 ・ 重要 ・ 普通 ) |

(4) 貴社が知的財産活動に取り組むにあたり課題となっていることについて、選択肢の中から該当するものすべてに○をつけてください。

- |  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 知的財産の効果に対する認識が低い                    | 2. 知的財産にかかる情報・知識が不足    |
| 3. 知的財産を管理する人材が不足                      | 4. 出願等の知的財産活動に費やす資金が不足 |
| 5. 弁護士や弁理士など相談できる専門家の不足                |                        |
| 6. 知的財産にさける時間が不足(例:技術者等が多忙のため)         |                        |
| 7. 職務発明に対する報奨制度などの知的財産に関する規程・契約書の整備が不足 |                        |
| 8. 知的財産の戦略的な権利化(周辺特許を押さえる等)ができていない     |                        |
| 9. 権利侵害への対策が不十分                        |                        |
| 10. その他 ( )                            |                        |
| 11. 特に課題はない                            |                        |

#### IV. 貴社の社内体制について

##### 問1. 知財担当者について

(1) 貴社の知財担当者数で該当するもの1つに○をつけてください。

- |               |           |           |           |              |
|---------------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 1. 1人（専任）     | 2. 2人（専任） | 3. 3人（専任） | 4. 4人（専任） | 5. 5人以上（専任）  |
| 6. 1人（兼任）     | 7. 2人（兼任） | 8. 3人（兼任） | 9. 4人（兼任） | 10. 5人以上（兼任） |
| 11. 担当者なし（0人） |           |           |           |              |

(2) 貴社の知財担当者はどの部署に所属していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- |           |                |            |           |
|-----------|----------------|------------|-----------|
| 1. 知的財産部門 | 2. 法務部門        | 3. 総務部門    | 4. 経営管理部門 |
| 5. 研究開発部門 | 6. 商品企画・設計部門   | 7. 品質管理部門  | 8. 生産部門   |
| 9. 営業部門   | 10. 経営者・経営幹部自身 | 11. その他（ ） |           |

##### 問2. 弁理士の活用について

(1) 貴社は、どのような場合に弁理士を活用していますか。また、その場合に費用をどの程度（1 事案毎に）、弁理士事務所に支払っていますか。該当するものすべてに○をつけるとともに、それぞれ金額もご記入下さい。

- |                                |   |    |
|--------------------------------|---|----|
| 1. 特許出願                        | （ | 円） |
| 2. 意匠出願                        | （ | 円） |
| 3. 商標出願                        | （ | 円） |
| 4. 特許出願の拒絶理由対応                 | （ | 円） |
| 5. 意匠出願の拒絶理由対応                 | （ | 円） |
| 6. 商標出願の拒絶理由対応                 | （ | 円） |
| 7. 特許出願の拒絶査定不服審判               | （ | 円） |
| 8. 特許の無効審判                     | （ | 円） |
| 9. 外国出願                        | （ | 円） |
| 10. ライセンス契約                    | （ | 円） |
| 11. その他権利活用                    | （ | 円） |
| 12. 自社又は他社による権利侵害への対応（侵害訴訟は除く） | （ | 円） |
| 13. 侵害訴訟                       | （ | 円） |
| 14. 知的財産戦略の立案・策定               | （ | 円） |
| 15. その他                        | （ | 円） |
| 16. 弁理士は使っていない                 |   |    |

(2) (1) において、1～15 に○をつけた方にお伺いします。貴社が弁理士を活用されている頻度と顧問契約の有無について、それぞれ最も該当するもの1つに○をつけてください。

①頻度

1. 週に1回以上	2. 1カ月に1回以上	3. 半年に1回以上
4. 1年に1回以上	5. その他 ( )	

②顧問

1. 弁理士と顧問契約をしている	2. 弁理士と顧問契約をしていない	3. わからない
------------------	-------------------	----------

問3. 貴社は、知的財産に関して誰に相談をしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 弁理士（特許事務所）	2. 弁護士（法律事務所）	3. 税理士
4. 中小企業診断士	5. 民間コンサルタント	6. 知財総合支援窓口
7. 他の公的機関（支援センター等）	8. 金融機関	9. 商工会・商工会議所
10. その他 ( )		

問4. 貴社において、知的財産に関わる人材育成は、どのように実施していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 社内での実務トレーニング	2. 公的機関での講習やトレーニング
3. 民間機関での講習やトレーニング	4. 特に取り組みを行っていない
5. その他 ( )	

問5. 貴社における知的財産に関する方針や制度で実施しているものについて、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 職務発明規程を策定	2. 事業戦略に沿った知的財産の戦略を策定
3. 発明者を対象とした報奨金制度を制定	4. 知的財産権の取得件数等を人事評価に導入
5. ライセンス活動による収支目標を設定	6. その他 ( )
7. 実施している知的財産に関する方針や制度はない	

## V. 知的財産に関する公的支援について

問1. 特許庁が行っている支援施策について

(1) 各支援施策の認知状況と利用状況についてお答えください。

※認知度についての指標は「0：全く知らない、1：聞いたことがある、2：内容まで知っている」としてください。

No.	施策名	認知度	利用経験
1	知財総合支援窓口	0・1・2	有・無
2	特許料等の減免	0・1・2	有・無
3	IPDL(特許電子図書館)	0・1・2	有・無
4	電子出願ソフト	0・1・2	有・無
5	知的財産権制度説明会(初心者向け)	0・1・2	有・無
6	知的財産権制度説明会(実務者向け)	0・1・2	有・無
7	知的財産権制度説明会(法改正説明会)	0・1・2	有・無
8	産業財産権専門官による企業訪問	0・1・2	有・無
9	早期審査制度	0・1・2	有・無
10	面接審査(出張面接、テレビ面接含む)	0・1・2	有・無
11	海外知的財産プロデューサー	0・1・2	有・無
12	新興国等知財情報データベース	0・1・2	有・無
13	外国出願補助金	0・1・2	有・無
14	「中小・ベンチャー企業のための知財支援ガイド」パンフレット	0・1・2	有・無
15	その他( )	0・1・2	有・無

(2) (1)において、利用経験に「有」と回答された施策についてお伺いします。利用された施策の中で最も効果があった施策について選択し、その理由をご記入ください。

最も効果があった施策番号

理由

(3) (1)において、「知財総合支援窓口」の利用経験に「有」と回答された方のみお答え下さい。利用した結果の満足度について選択し、その理由をご記入ください。

1. 満足

2. 概ね満足

3. 不満

理由

(4) (1) において、「3 IPDL (特許電子図書館)」の利用経験に「有」と回答された方のみお答え下さい。どういう場合に利用されていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 技術開発・研究開発にあたって、技術動向や発明の手がかりを把握するため(無駄な研究開発の回避等)</li><li>2. 出願前(審査請求前)に特許等の権利化の見通しを判断するため</li><li>3. 事業化・製品化にあたって、他社の権利に抵触(侵害)していないかをチェックするため</li><li>4. 他社権利を阻止・無効化するための公知例を調べるため</li><li>5. その他 ( )</li></ol> |
|---|

また、IPDL (特許電子図書館)の使いやすさに関する改善のご要望があればご記入ください。

----------------------

(5) (1) において、いずれかの施策の利用経験に「有」と回答された施策についてお伺いします。利用したことがある支援施策について、ご意見があればご記入下さい。

----------------------

問2. 貴社が知的財産活動に取り組むにあたり、どのような公的な支援・サポートを必要としていますか。必要度合いが高いものを3つまで○をつけて下さい。

- |  |
|--|
| 1. 国内での特許等取得に関する費用軽減措置                   |
| 2. 海外での特許等取得に関する費用軽減措置                   |
| 3. 先行技術調査代行に関する費用軽減措置                    |
| 4. I P D L (特許電子図書館) 等における知的財産権情報検索環境の充実 |
| 5. 知的財産権制度や出願手続等に関する相談窓口                 |
| 6. 知財戦略の策定や特許マップ作成等に関する知財コンサルティング        |
| 7. 知的財産を扱う人材の育成・知財関連教育                   |
| 8. 国内での侵害対応の支援                           |
| 9. 海外での侵害調査や模倣品対策等の支援                    |
| 10. 国内の知的財産権制度に関する情報提供 (説明会・セミナー・WEB等)   |
| 11. 海外の知的財産権制度に関する情報提供 (説明会・セミナー・WEB等)   |
| 12. 知的財産に関する各種支援施策等の情報提供                 |
| 13. 金融機関による特許等を活用した中小企業融資の促進             |
| 14. 弁護士・弁理士による知財専門支援                     |
| 15. 技術流出・情報漏洩の防止のための営業秘密 (ノウハウ) 管理サポート   |
| 16. 技術導入・ライセンスインに関する支援・サポート              |
| 17. 技術供与・ライセンスアウトに関する支援・サポート             |
| 18. その他 ( )                              |
| 19. 特に、公的な支援・サポートは必要ない                   |

以上でアンケート調査は終了です。ご協力誠にありがとうございました。  
 以下の回答者情報に必要事項をご記入いただき、本調査票を同封しております  
 返信用封筒に入れ、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

商号		所属部課名	
役職名		氏名	
電話番号		FAX番号	
E-mail			